

大塚長六

おおつか・ちょうろく

タカヤ株式会社社長、井原商工会議所会頭

経歴

生:大正8年(1919年)10月12日、岡山県井原市生まれ

没:平成20年(2008年)12月5日、享年90歳

昭和12年(1937年)	17歳	広島県立福山誠之館中学校卒業
昭和17年(1942年)	22歳	早稲田大学政経学部卒業
昭和21年(1946年)	26歳	高屋織物株式会社(現タカヤ株式会社)入社
昭和29年(1954年)	34歳	井原商工会議所副会頭、改組委員長
昭和31年(1956年)	36歳	中備染色整理株式会社社長
昭和31年(1956年)～ 昭和36年(1961年)	36～ 41歳	高屋第一小学校PTA会長
昭和36年(1961年)	41歳	高屋織物株式会社(現タカヤ株式会社)社長
昭和38年(1963年)	43歳	高屋織物商事株式会社(現タカヤ商事株式会社)社長
昭和38年(1963年)秋	44歳	紺綬褒章
昭和41年(1966年)～ 平成11年(1999年)	48～ 81歳	井原商工会議所会頭
昭和42年(1967年)～ 昭和44年(1969年)	49～ 51歳	井原ライオンズクラブ会長
昭和54年(1979年)	61歳	シャープタカヤ株式会社を設立
昭和60年(1985年)	66歳	藍綬褒章
平成4年(1992年)	72歳	旧シンコー電器株式会社管財人
平成4年(1992年)	72歳	(財)タカヤ文化財団理事長
平成4年(1992年)秋	73歳	勲四等瑞宝章
平成10年(1998年)	78歳	興譲館高等学校理事長
平成11年(1999年)	79歳	タカヤ株式会社代表取締役会長
平成13年(2001年)	82歳	岡山県三木記念賞(第34回)

—	—	岡山県公安委員長
—	—	岡山県経営者協会井原支部長
—	—	高屋繊維協会会長
—	—	井原市文化協会副会長
—	—	福山誠之館同窓会井原支部顧問

生い立ちと学業、業績

繊維と電子の両輪で、岡山県西部を代表するグループ企業の実質的創業者。

大塚長六氏は、創業者笹一氏の孫。

昭和12年(1937年)福山誠之館中学校卒、昭和17年(1942年)早稲田大学政治経済学部卒。

軍隊を経て中国から復員した昭和21年(1946年)高屋織物(株)(現タカヤ(株))に入社。

昭和23年(1948年)常務取締役、昭和26年(1951年)専務取締役を経て、昭和36年(1961年)父薫雄氏の後を継いで社長に就任し、グループの代表となる。

昭和38年(1963年)高屋織物商事(株)(現タカヤ商事(株))代表取締役社長に就任。

この年の秋紺綬褒章授章、氏の44才の時である。また同じ頃井笠鉄道(株)の取締役にも就任している。

転機が訪れたのは昭和41年(1966年)であった。

5月に井原商工会議所の会頭に就任し、以後連続12期34年間務める訳であるが、丁度その時「シャープが電気製品の組立工場を探している」との話が入って来た。

積極的な自動化と東京五輪後の不況で、従業員の半減を迫られていた時、元手が要らず大勢の人手が使える仕事は渡りに舟であった。

工場に机を並べ、トランジスタラジオ、音響機器の組み立てを開始。

すぐに松下電器産業からも仕事が舞い込み、高度成長の時流に乗った。

その後は一気に多角化を推進し、昭和54年(1979年)、シャープと組んで電子部品製造のシャープタカヤ電子工業を設立。

繊維も分社を進め、染色、縫製、卸・小売りと業容を拡大し、現在のタカヤグループの基盤を固めた。

昭和42年(1967年)には井原ロータリークラブを創立し、初代、2代の会長を勤める。

その他岡山経済同友会幹事、岡山県障害者雇用促進協会副会長、備中織物構造改善工業組合理事長、福山大学理事、その他地域の非常に多岐に渡る分野での多くの要職を務め、各界よりの表彰、感謝状の類いは数知れない。

昭和59年(1984年)藍綬褒章を授章する。

平成4年(1992年)、会社更生法適用を申請した旧シンコー電器の管財人となり、フェニテックセミコンダクターとして同社の再建を果す。

平成4年(1992年)(財)タカヤ文化財団理事長に就任、秋には勲四等瑞宝章を授章する。

グループ百周年の事業では、平成6年(1994年)、社名の由来となった発祥の地・井原市高屋町に、郷土の日本画家、金島桂華の作品を中心に近代日本画壇の代表作を集めた“華鶴(はなとり)美術館”を開いた。

その後岡山県公安委員長等を歴任しながら事業を次世代に引き継ぐべく、逐次社長から会長となり、バトンの引き継ぎを進めている。

平成13年(2001年)、産業部門で第34回岡山県三木記念賞を受賞する。

氏は雇用や文化貢献を貫く、井笠地方の経済界では文字通りの顔役である。 市川卓治
(昭和30年卒)

誠之館所蔵品

管理No.	氏名	名称	制作/発行	日付
02060	福山誠之館同窓会 編	「神高線のガソリンカーーわが懐しき愛用車ー」 『懐古ー誠之館時代の思い出ー』、171頁	福山誠之館 同窓会	昭和58年

出典1:『備後備中肖像名鑑(郷土を創りつつある人々)』、121頁、式見静夫編、備後文化出版社刊、昭和37年8月

出典2:『懐古ー誠之館時代の思い出ー』、171頁、大塚長六、「神高線のガソリンカーーわが懐しき愛用車ー」、福山誠之館同窓会編刊、昭和58年5月15日

出典3:『中国年鑑54年版別冊会社録・人名録』、157頁、中国新聞社編刊、昭和53年11月15日

2005年6月1日更新:本文・関連情報●2006年6月21日更新:タイトル●2007年8月23日更新:関係資料●2008年2月5日更新:経歴・本文●2008年2月22日更新:経歴●2008年9月9日更新:経歴・出典●2009年1月9日更新:経歴●2011年8月18日更新:誠之館所蔵品・出典●